

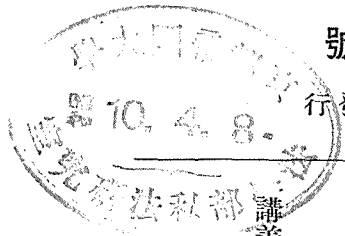
(大正五年四月六日第三種郵便物認可) 昭和十年三月廿五日印刷納本(每月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 二 十 二 卷 第 四 冊

第 二 百 二 十 九 號

昭 和 十 年 四 月 一 日 發 行



知的直觀と辨證法……………文學士 赤松元通

アリストテレスの構想論(承前)……………文學士 西谷啓治

講義題目、其他……………

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス

第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス

第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、毎月一回研究會ヲ開ク

一、毎年公開講演會ヲ開ク

一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス

第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク

第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク

一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス

第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會ス
ルコトヲ得

第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納
スベキモノトス

第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌
『哲學研究』ノ配付ヲ受ク

第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	天野貞祐
文學士	岩井勝二郎
文學博士	植田壽藏
文學士	白井二尙
文學博士	小島祐馬
文學博士	木村素衛
文學博士	九鬼周造
文學博士	田邊元
文學士	中井正一
文學博士	野上俊夫
文學博士	羽溪了諦
文學博士	波多野精一
文學士	服部英次郎
文學博士	本田義英
文學博士	山内得立

前 號 目 次

歷史的認識……………	文學士 高坂正顯
社會的道德の理論(承前)……………	文學士 島 芳 夫
歴史に於ける自由と必然……………	文學士 山崎秀爾
雜錄、彙報、其他……………	……………

會 告

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候
 一、會員ニテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版印刷株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候
 一、會費ハ振替口座大阪叁〇六六三番 内外出版印刷株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄附雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候

京都帝國大學
文學部内 京都哲學會

註 文 規 定

○ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版印刷株式會社へ御申込下され度候
 ○ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下され度候
 ○ 振替貯金にて御送金の際は(振替大阪三九三一番東京三九三一番)内外出版印刷株式會社宛に願上候
 ○ 前金切れの場合は帶封に「前金切」の印章捺捺致すべきに付直に御拂込下され度候
 ○ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

冊 數	定 價		郵 稅
	冊 金	拾 錢	
一冊	金四拾錢	金壹錢	
六冊(前金)	金貳圓四拾錢	不申	受
十二冊(前金)	金四圓八拾錢	不申	受

廣告料 一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

昭和十年三月廿五日印刷納本
 昭和十年四月一日發行
 第二百二十九號 第二十卷 第四册

京都帝國大學文學部内

編輯者 京都哲學會

右代表者 服部英次郎

發行者 須磨勘兵衛

印刷者 須磨勘兵衛

印刷所 京都北小路通新町西入

内外出版印刷株式會社
 京都市西洞院通七條南入

發 行 所

京都市下京區西洞院七條南

内外出版印刷株式會社

振替口座 大阪三二九五五番
 東京三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入
 販賣所 京都市日本橋區本銀町三ノ十四 内外出版印刷株式會社

(東京) 寶文館 東京堂 東海堂

(大阪) 北隆館 上田屋 參文社

(神戸) 寶文館 盛文館

(京都) 共盛社 大盛社

賣 捌 所

不許複製
 禁轉載

新鮮無比な新學藝の殿堂

現代哲學與全集建設社

推薦

西田幾多郎
高橋里美
田邊正治
木村謹
高坂正
恒谷藤次郎
長谷川如是閑
杉森孝次郎

信賴すべき指導者

恒藤 恭

一の時代は時代を洞察する眼である。哲學は其れに特有な哲學を生み出すことによつて、自己の内面に展開する一切の社會的事相の眞の意義を把握せむとするのである。だから現代社會にみざり渡る種々の生活の流れるに身を任せつゝ、ただ盲目的に如何なる時代たるかを洞察し、現代社會における自己の地位を現代的に認識しなからず、果して對する人々は、必ずや現代の哲學に對して、念とせざるを得ないであらう。殊に、社會に深く内を思はせ、いづれ、不安のうちに生活する現代人が、ひとたび自己の存在の根柢を觸れむと欲する念慮は切實なものがあつて、建設社「現代哲學全集」は、恰もさうした欲をいだく人々にとつて、親したむべく且つ信頼すべからうと思ふ。役立つものたるであらうと指導

項目及執筆	第一卷	第二卷	第三卷	第四卷	第五卷	第六卷	第七卷	第八卷	第九卷	第十卷	第十一卷	第十二卷	第十三卷	第十四卷	第十五卷	第十六卷	第十七卷	第十八卷	
現代の哲學	現代の哲學	現代の哲學	現代の倫理學	現代の心理學	現代の教育學	現象學	辨證學	生の哲學	性學	哲學的自觀	社會哲學	イデオロギイ論	フアッシュ	マルキシズム	民衆學	考	言語學	史學	藝術學
熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝	熊野義孝

第二十卷 美術史論 外山卯三郎
第十九卷 現代の文學 高橋健二
第十八卷 シア文學 外村史郎
第十七卷 現代の文學 伊吹武彦
第十六卷 フランス文學 伊吹武彦
第十五卷 イギリス文學 伊吹武彦
第十四卷 アメリカ文學 高垣松雄
第十三卷 日本精神史 清原真雄
第十二卷 歐洲精神史 金子鷹之助

第一回配本開始 (三冊)
坂田德男著 性格學
大場磐雄著 考古學

全廿四卷 每月二冊配本
定價一冊每卷三百頁 內四
申込金一圓 送料廿二錢
內容見本送呈

東京市牛込區揚場町八
電話 牛込五一八七四
振替 東京一八六九

建設社

(大正五年四月六日) 昭和十年三月廿五日印刷納本 (每月一回) 行 (一日發行)
哲學研究 第二百二十九號 定價金四拾錢 郵税金壹錢